

◆自分たちの力で「まちづくり」

チャレンジしよう

海に囲まれ、複数の島や半島からなる私たちの住む上関町。それぞれの地区に独特の歴史や文化・風土があります。また、抱えている課題も地域によりさまざまです。上関町全体の「まちづくり」を考えた時、地区ごとの特徴を活かした取り組み、地区ごとの課題に適した対応策が必要になります。

町の行政が地域住民の声を聞いて、住民のニーズ(必要性)に合った政策を実施していくことはもちろん重要ですが、何もかも行政まかせにするのではなく、住民が自分たちの力で「まちづくり」に取り組むことが、元気で活気のある「地域づくり」に繋がり、それが住民の「楽しみ」となり、「生き甲斐」にもなることでしょう。そして、こういった取り組みをみんなで楽しく続けることができれば、それ自体が地域の魅力になり、ひいては上関町全体の魅力にもなり、「ここに住み続けたい(定住)」「ここに帰りたい(リターン)」「ここに住んでみたい(ハートン)」とこういような気持ちを引き起こせるのではないのでしょうか。

◆「まちづくり」の情報発信

まずは、あなた自身が「まちづくり」にチャレンジしてみませんか? 「まちづくり



「できることから」

り」といっても大げさに考える必要はありません。あなたのできることから始めてみましょう。歴史の好きな人は地域の歴史を調べたりまとめたり、手先の器用な人は工芸品を作ってみたり、料理の好きな人は伝統の郷土料理の作り方を教えたり覚えたり、特産品を使って新しい料理を考えてみるとか:自分の得意なことや趣味を「まちづくり」に活かせばいいのです。

すでに、グループでそういう活動をされたり、個人で活動されておられる方は、結構いらっしゃるのではないのでしょうか。大切なのは、内に留めておくだけでなく外向かって発信していくことだと思います。活動内容を広くアピールすることによって町の内外から注目を集めることになり、趣味の活動が「仲間づくり」や「まちづくり」の活動へと進化することでしょう。また、注目されることで、活動をさらに活発にしていく動機付けにもなり、同じような活動をしている者同士が交流するきっかけや、他の分野で活動している人たちとの交流にも繋がっていくことでしょう。

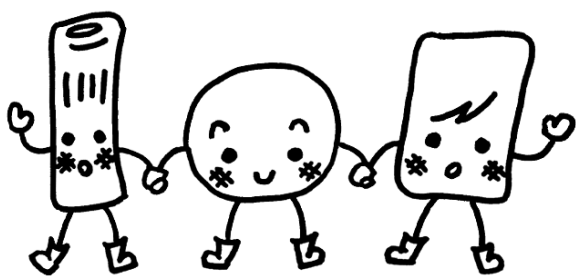
また、情報発信する際には、パソコンの得意な人や絵の得意な人が一緒にいると活動しやすいので、そういう人が近くにいたら、ぜひ声をかけて協力をお願いしてみましよう。まずは始めること、そして情報を発信することが輪を広げていくことになると思います。

◆連携しよう

いろんな活動をされている個人やグルー

プが有機的に結びついていく(=連携すること)で、次第にまとまっていく(=よう)になると、その相乗効果によって「まちづくり」が一層加速されていくことでしょう。情報が発信することで、こんな活動をしている人がいるのか、という発見があり、「仲間に入れてもらえませんか」とか、「一緒にイベントをやりませんか」とか、そんな連携が町のあちこちで起こると面白いですね。もしかしたら、町外のグループとの連携も生まれるかもしれません。

上関町では、毎年11月に「愛・ランドフエア」が開催されています。絵画・写真・工芸・研究発表など、町民の皆さんのさまざまな文化活動の発表の場になっていますが、これをもっと発展させ、これらの活動をどのよう「まちづくり」に活かしていくかを話し合ったりして、それぞれの活動の交流の場にはいか



「連携しよう!」

がでしょうか。あれだけのすばらしい作品や活動の集大成を「まちづくり」に活かさない手はありません。とにかく、皆さんの活動の交流の場を作り、連携していくことは重要なことだと思います。

◆助成金制度を活用しよう

「まちづくり」をすすめるうえで、どうしてもまとまった資金が必要になることがあります。そんなときに活用したいのが助成金制度。さまざまな企業・団体・自治体などが社会貢献のために助成金の対象事業

を募集しています。

比較的簡単に助成金を受けられるものから、審査の厳しいものまでありますが、助成金を受けるには、必ず事業計画書を提出することになります。そのために、しっかりとした事業計画を立てることが必要になります。事業計画書を作る段階で、いつまでにどういうことを行うという目標や、それにはどれだけの予算が必要かといったことが明確になり、活動がスムーズに進む可能性が高まります。助成金を受けられるかどうかにかかわらず、事業計画を明確にすることはとても大切なことです。さらに、助成金を受けることになった場合には、計画通りに事業を進めることが求められますが、このことが結果的に皆さんの進めたい「まちづくり」の夢の実現へと繋がることになるでしょう。

今回、「わいわい掲示板」に財団法人日本離島センターの「離島人材育成基金助成事業」の募集要項を掲載していますので、対象となる祝島・八島のみなさんはチャレンジされてみてはいかがでしょうか。

「わいわいタイムス」では、『「まちづくり」にチャレンジ』と題して、今回から連載で「まちづくり」の参考になるような情報を提供しながら、一緒に学んでいきたいと考えています。次号では『情報発信』について詳しい内容の特集する予定です。「こういうことを知りたい」という「要望」・「質問」などありましたら、編集部までご連絡ください。

上関町が今よりもっと元気になるように、みなさん一緒に盛りたてていきましよう!